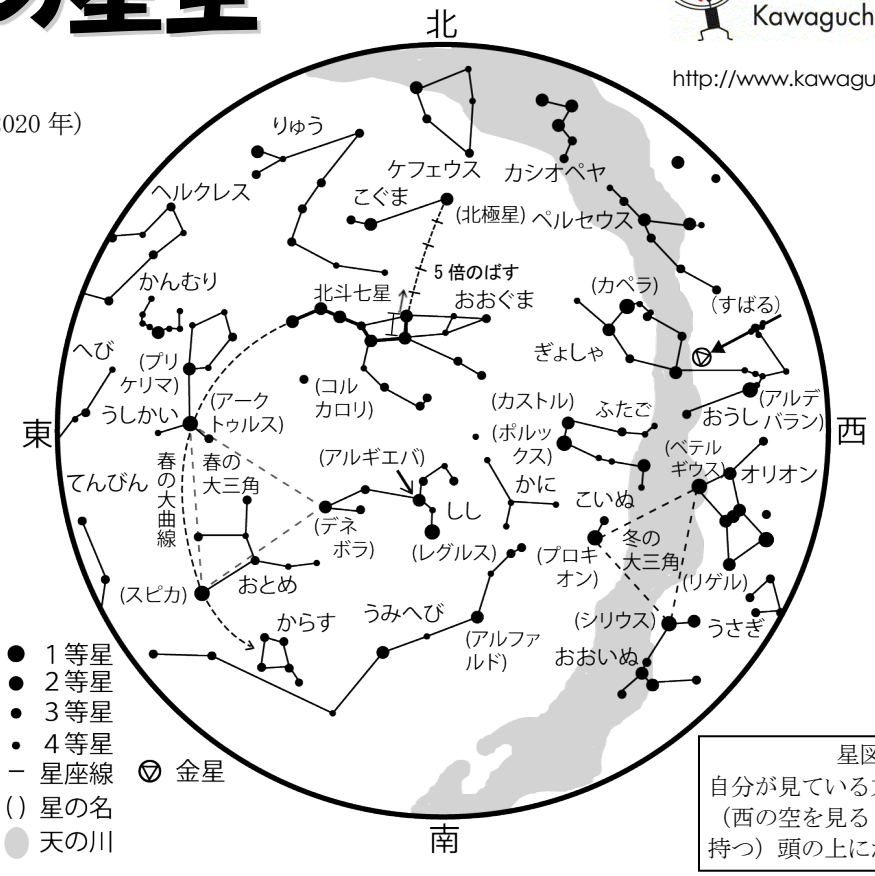
今月の星空

川口市立科学館
Kawaguchi Science Museum
tel 048(262)8431
http://www.kawaguchi.science.museum

4 月 (2020 年)

上旬 21 時頃
下旬 20 時頃



星図の見方
自分が見ている方角を下にして、（西の空を見るときは西を下にして持つ）頭の上にかざして見ます。

月　齢　◐上弦 1 日、○満月 8 日、◑ 下弦 15 日、●新月 23 日

惑星情報　金星　夜のはじめ頃　西（おうし座　－4 等→－5 等）　火星　明け方　南東（やぎ座　1 等→0 等）
木星　明け方　南東（いて座　－2 等）　土星　明け方　南東（やぎ座　1 等）

☆春の星座、しし座が見ごろ

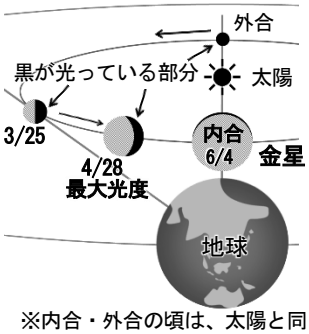
4 日は、すべてのものが生き生きとして清らかに見える、二十四節気の清明（せいめい）。夜空を見上げても、神話に登場する生き物の星座たちが、意気揚々と昇ってきています。南の空高くにはしし座の姿があります。この姿はギリシャ神話では、英雄ヘルクレスに退治される人食いライオンです。しし座の中で一番目立つ星が、胸元の 1 等星レグルス。その他、2 等星のアルギエバやデネボラも見つけることができれば、しし座の全景が捉えやすくなります。星図ではなく、実天で見るしし座は、想像以上に大きく見えるでしょう。

☆金星が最も輝くとき（28 日　金星が最大光度）

愛と美の女神ヴィーナスの名にふさわしい輝きを放つ金星が、28 日に最大光度（－4.5 等）を迎えます。この頃は、昼間でも位置さえ把握していれば、肉眼で見えるほどです。金星の明るさは、およそ－3.9 等から－4.5 等の間で変化します。この変化は、太陽－金星－地球の位置関係と金星の満ち欠けが影響します（図 1 参照）。まず、地球との距離を考えると、金星の見かけの大きさは、金星が太陽の向こう側にある外合の頃が最も小さく、明るさも暗くなります。反対に、地球との距離が近づくほど金星は大きくなりますが、それと共に欠けていくため、光っている部分の割合（輝面比）が小さくなります。最も近づく内合の頃は、太陽と同方向にあるうえ、新月状のため観測できません。

そこで、最大光度となる 28 日は、見かけの大きさが大きく、かつ、適度に欠けた（地球から見て光っている面積が最も大きい）状態になっています。

金星の満ち欠けは望遠鏡を使えば見ることができます。最大光度の 28 日は、図 2 のとおり、偶然にも月と金星の形が似た状態になっています。加えて、26 日～28 日は金星の近くに月が見えますので両者の共演にも注目です。



※内合・外合の頃は、太陽と同じ方向にあるため見えません。

図 1　太陽−金星−地球の関係と金星の満ち欠け

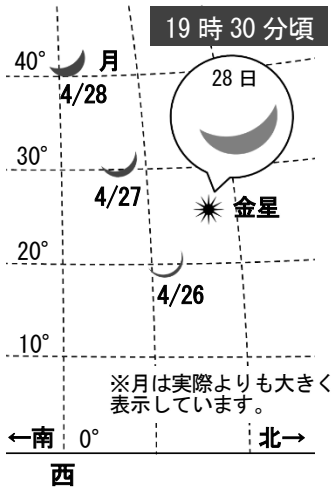


図 2　4/26～28 の月と金星